

2026年9月30日
株式会社エフピコ

エフピコ・旬グループ「エコストア協働宣言」 「エコ製品」の積極的な使用で協働し、CO2 排出量削減

～2026年1月期は年間114tのCO2排出量を削減～

株式会社エフピコ（本社：東京都新宿区、代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と旬グループ（株式会社旬、株式会社旬フーズシステム、本社：神奈川県厚木市、代表取締役社長：対比地 大輔、以下「旬グループ」）は、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを強化するため、「エコストア協働宣言」を発表いたします。

本宣言は、地域の環境負荷低減ならびに地上資源の有効活用を推進することを目的としています。今回の協働により、旬グループが東京、神奈川、群馬を中心に展開する38店舗（2026年10月1日時点）において、リサイクル原料を用いた「エコ製品」※1を積極的に使用し、資源の有効活用を加速いたします。



●本取り組みの主なポイント

1. エコ製品への切り替えによる環境負荷の低減

エフピコは、独自の「エフピコ方式のリサイクル」による地上資源の循環およびCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、「持続可能な社会の実現」を目指しています。「エフピコ方式のリサイクル」では、使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせる「トレーtoトレー」、及び使用済みペットボトルを回収し、新たな透明容器に生まれ変わらせる「ボトルto透明容器」に取り組んでいます。

旬グループは、エフピコのエコ製品を売り場で積極的に使用することで、CO2排出量削減に貢献してきました（2026年1月期実績：114tのCO2排出量を削減）。本宣言を機に、回収資源から再生されたエコ製品の売り場での使用をさらに拡大し、持続可能な社会の構築を目指してまいります。

2. 消費者への情報発信と環境啓発の推進

本宣言に伴い、より多くのお客様に本取り組みを周知するため、全店舗において環境ポスターを活用したPR活動を新たに開始いたします。啓発活動を強化することで、エフピコと旬グループは地域社会の皆さまと共に持続可能な社会を目指してまいります。

【エフピコ方式のリサイクル】



※1 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレイtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6037 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー37階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.jp/>

【リサイクル特設ページ】 [エフピコ みんなでリサイクル](#)

<旬グループ(屋号「さかなや旬」)>

旬グループは、神奈川、東京、群馬に鮮魚小売専門店「さかなや旬」や地元根拠地「鮮魚センター」を展開しています。私たちが掲げる「日本の豊かな食文化を次の世代へ繋ぐ」という理念。それは、単に美味しいお魚を売るだけでなく、お魚を育んでくれる「豊かな日本の海」とその「恵」を利用する「先人からの知恵」を、未来の子どもたちへ残していくことでもあります。そのために私たちにできることは何か…。

答えの一つが、今回エフピコと共に掲げる「エコストア協働宣言」です。食卓を彩った後の食品トレーを、再び命を吹き込まれた「エコ製品」として私たちの売り場で再びお魚を美味しく彩る。この循環は、私たちの豊かな海を守り、未来の水産資源を守ることに繋がっています。

「さかなや旬」での日々のお買い物が、そのまま日本の海と食文化を守る一歩になるように。お客様、そしてエフピコとともに、優しく力強い循環の輪を広げてまいります。

所在地:〒243-0212 神奈川県厚木市及川2-5-2

代表者:代表取締役社長 対比地 大輔

創業:1997年2月

H P:<https://www.syun-gr.co.jp/>

以上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767